

くじ抽選方法（郵便入札）

郵便入札において、落札となるべき同価格の入札をした者が2者以上のときで、当該入札参加者による立会い者がいない場合は、次の方法により落札者を決定します。

- 1 入札書にくじ抽選用の**3桁の任意のくじ番号**をあらかじめ記入した上で、入札書を郵送する。（くじ番号が不明確または未記入の場合は、999として、取り扱う）
- 2 契約担当課が入札執行同時に作成した一般競争入札参加者名簿または指名競争入札指名表の上位より順に、くじ対象者に対し0、1、2、3・・・と0から順にくじ抽選対象番号を割り当てる。
- 3 同価格の入札書に記載された任意のくじ番号をすべて加算し、**くじ番号合計値**とする。
- 4 **くじ番号合計値**をくじ対象者数で割ったときの**余りの値**と、くじ抽選対象番号が合致した者を落札者とする。

（計算例）

※A～Fの6者のうち、A、C、D、Fの4者が落札となるべき同価格（3桁の任意の数字・名簿順は下表のとおり）であったとする。

名簿登載順	入札額	くじ抽選対象番号	3桁の数字
A	10,000,000	0	1 2 3
B	12,000,000		4 0 0
C	10,000,000	1	0 5 5
D	10,000,000	2	9 9 9
E	10,800,000		4 5 6
F	10,000,000	3	7 8 9

$$1\ 2\ 3 + 0\ 5\ 5 + 9\ 9\ 9 + 7\ 8\ 9 = 1\ 9\ 6\ 6$$

$$1\ 9\ 6\ 6 \div 4 = 4\ 9\ 1\ \text{余り「2」}$$

よって、くじ抽選対象番号「2」のDが落札者となる。